

グラビア写真説明

主要地方道 茨木摂津線（都市計画道路 大岩線）橋梁上部工事

本工事は、大阪府都市整備部の新名神高速御道路建設事業として、現在西日本高速道路株式会社で進められている新名神高速道路（近畿自動車道、名古屋神戸線）の整備に合わせ、主要地方道茨木摂津線（都市計画道路大岩線）整備事業を行うものです。新名神高速道路の料金所からのアクセス道路や関連道路の整備として、茨木千提寺インターチェンジから府道茨木亀岡線までの約1.9kmのうち、Ⅱ期区間（約1.3km）の橋梁部です。地域の交通利便性の向上、定時制の確保等による企業の立地促進や地域の活性化など、暮らしにゆとりと活力をもたらす「新名神高速道路」へのアクセスとして、中部圏・首都圏と大阪府域との連携を強化、北摂地域のまちづくり、活性化に寄与することが期待されます。

（小林 祐介）

市道石嶺線都市モノレール建設工事（鋼構造物H28）

石嶺駅舎は、現在、那覇空港から首里間（12.9km）で運行されている「ゆいレール」を首里駅から石嶺駅、経塚駅、浦添前田駅を経て、てだこ浦西駅間（4.1km）まで延伸する工事の一部です。

本工事は、鋼製ラケット型橋脚3基、L型橋脚1基、門型橋脚1基、コンコース階、軌道床桁、ホーム桁の架設です。駅舎架設工事全般の工程短縮の為、全て360t吊トラッククレーンによる夜間架設を行い、夜間作業の効率を高めるとともに工期短縮を図ることができました。

「ゆいレール」を延伸することにより、沖縄本島を南北に貫く沖縄自動車道と鉄道「ゆいレール」がつながり、那覇市内の渋滞緩和を促す「パーク&モノライド」が実現します。

（村島 康文）

新守谷駅自由通路（跨線橋）新設工事

本跨線橋は、つくばみらい市に2015年4月に新設開校した「学校法人 開智学園 開智望小学校」の生徒が隣接する、関東鉄道：新守谷駅まで安全に行き来する目的と、つくばみらい市近隣住民の為に作られた跨線橋です。

新守谷駅は、橋上駅舎ですが守谷市側のみ駅改札口が有り、市街地に繋がる自由通路が接続していますが、「つくばみらい市」側は線路で遮断されて駅にアクセス出来ない構造となっています。

その為、小学校から駅へのアクセスは、学校の先生が引率のもと学園のバスで線路を迂回し送迎をしている状況となっており早急な完成が求められていました。

本跨線橋の構造は、橋上駅舎に直接接続する構造ではなく、守谷市側の自由通路に接続する「コ」の字型となっています。その為関東鉄道を跨ぐ跨線橋が必要となっており、架設方法は550t吊クレーンでの大ブロック落とし込み架設となりました。

ヤード及び搬入路の確保に関しては、開智学園の協力で学校の一部敷地を借地出来る事になり、無事架設する事が出来ました。

架設当夜には、学園屋上を開放し入学している父兄の方や、近隣住民の方々の大勢が見学に来ており、この自由通路の期待度が伺われました。

（白倉 進）

グラビア写真説明

明石西明石林崎Bo改築工事（林崎下り線新設工事）

林崎Boは、兵庫県の道路改築事業である「一般国道2号和坂拡幅」の2車線から4車線への道路拡幅工事における跨線橋であり、JR山陽本線の明石－西明石駅間に位置します。

工事は現況道路に並行して非常に近接した位置での施行となり、架設工法は手延べ機と自走台車設備併用による送り出し工法を採用しました。送り出し後には1.0mの桁横取作業と3.1mの降下作業を行う施行方法でした。線路上空作業においては、JR山陽本線4線すべてオールクリアの線路閉鎖・キ電停止作業となり、約30分程度の限られた時間内でのタイムサイクル作業となりました。

また、本工事は鉄道上空工事で夜間作業も多い中、綿密な工程計画を行い、働き方改革における4週8休体制のモデル現場として、実現に向けて積極的に取り組んで参りました。

「一般国道2号和坂拡幅」が完成し2車線のボトルネック（前後4車線）が解消されると、慢性的な交通渋滞もなくなり、緊急輸送道路として災害に強い東西交通を確保できる事を期待します。（次井 丈泰）

新青森総合運動公園陸上競技場新築工事

この建築物は青森市の郊外、山と田園地帯に囲まれた青森県総合運動公園の敷地内に建設される運動公園の中核施設・陸上競技場です。設計者は伊藤豊雄氏の率いる設計事務所です。

デザインにおいて特徴的なのは、近くにそびえる東岳の樹木の連なりをイメージしたメインスタンドの大屋根です。建物正面の競技トラック側から眺めると、支柱から伸びる25mの片持ち梁はまるで幹から枝先へ葉を広げる大樹の様相です。背面のメインコンコースはスラリと長い柱が一定のリズムで木立のように配置されている広々とした空間です。

柱はSRC造、天井の仕上げはGRCパネルの外装材を用いており滑らかな曲線で立体的な表現が可能となっており、柱から天井までをやわらかい曲線で繋いでいます。曲線により生物的な外観となっていますが、コンクリートの無機質な色調のためか自然の山々とは異質の独特な空間を演出しています。（安藤 正志）